

「サステイナブルな地球環境への取り組み」



コーセーの創業者 小林孝三郎は生涯にわたって、「正しきことに従う心」を座右の銘としていました。江戸時代の近江商人の「三方よし」の精神はよく知られていますが、孝三郎も同様に、お客さまやお店、そして社会との共存共栄を経営の基本精神としていました。良い化粧品と、お客さまの求める美とご満足を提供し続けながら、「社会とともに」永続的な発展を目指してきたことが、今日のコーセーの礎となっています。

現代の言葉でいえばコンプライアンスや、サステイナブルな社会環境の実現を目指す、このような取り組みは、急激な経済発展に伴う自然破壊や地球温暖化などの環境問題、さらに国内における少子化による人口減などの難題を抱え、現代を生きる私たちにとってさらに重要な責務となっていると考えます。

コーセーは今から20年以上前の1991年、CI導入を機に企業メッセージとして「美しい知恵 人へ、地球へ。」を掲げました。子どもや孫の世代、さらにその先まで、皆が幸せに暮らせる社会や青く美しい地球が存続してゆくために、美の創造企業として“美しい知恵”を生み続けたい。そのために、環境負荷低減への地道な努力はもちろん、当社ならではのさまざまな取り組みも精力的に行っています。1992年、化粧品業界で初めて設立した特例子会社のアドバンスは、障がい者と健常者がサポートしあいながら企業活動を支える生産拠点のひとつとして、日本

企業の先頭を切ってスタートしたノーマライゼーション推進への役割を現在も果たし続けています。

環境保全に向けては、1997年に「地球環境委員会」を組織し、生産現場で廃棄物を実質的になくすゼロエミッション、また環境負荷低減型の原材料使用などに積極的に取り組んできました。また絶滅の危機にあるサンゴ礁を救う2009年からの“SAVE the BLUE®”プロジェクトは4年目となり、今年は新たにアジアの6の国と地域においても、自然保護活動の支援を始めました。また中国のホルチン砂漠の緑化支援を昨年よりスタート*するなど、その取り組み範囲はグローバルに拡大しています。

2011年の大震災によって、我々の企業市民としての社会における共生や、自然環境との共存という命題は、さらに重みを増したと感じます。私たちは、今後も「正しきことに従う心」を行動憲章として企業精神の軸に据え、サステイナブルな社会、地球環境の実現へ向けて、取り組み続けていく所存です。ぜひ今後とも、ステークホルダーの皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

代表取締役社長

小林 一俊

*本冊子の表紙を飾るコスメテコルテ「モイスチュアリポソーム」では、「砂漠をうるおすプロジェクト」にて売上の一部でホルチン砂漠の緑化を支援しています。(詳細は9ページをご覧ください)

Close up

環境・生物多様性への取り組み

生物多様性とは、地球上に生きるすべての生物の豊かな個性とそのつながりのこと。

地球上の生きものは40億年という長い歴史のなかで、さまざまな環境に適応して進化し多様な生きものが生まれてきました。これらの生命は一つひとつに個性があり、すべて直接的に、また間接的に支えあって生きています。

私たちコーセーグループは、日々の企業活動が生物多様性からの恵みを受け、また影響を与えていることを強く認識し、当社グループの持つ美しい知恵を結集し、広く地域・社会と共存しながら持続可能で豊かな社会を目指します。